

2022年4月1日
株式会社三菱UFJ銀行

「グリーン預金」の取り扱い開始について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 ほんざわ じゅんいち 半沢 淳一、以下当行）は、2022年4月11日より環境改善に資する事業に資金用途を限定した外貨定期預金「グリーン預金」（以下、本商品）の取り扱いを開始します。日本国内での取扱いは、昨年の米国、先月の豪州に続き3か国目となります。その他海外拠点についても順次取り扱いを開始する予定です。

本商品の取り扱い開始にあたり、当行では第三者評価機関の協力を得て「MUFG Green Deposit Framework (MUFG グリーン預金フレームワーク)」を策定しており、グリーン預金としてお預かりする資金は、同フレームワークの要件を満たす環境分野向けの融資に充当します。同フレームワークは、ESG 関連を取り巻く環境、マーケット動向や規制の変化をふまえ、今後も必要に応じて更新します。

本商品の概要（日本国内）

対象のお客さま	法人・個人
通貨	米ドル
取引対象	外貨定期預金
預入期間	1ヵ月以上1年以内
預入金額	100万米ドル以上2,500万米ドル以下（預入明細単位）
グリーン預金充当資産	MUFG Green Deposit Framework (MUFG グリーン預金フレームワーク)に定めた適格資産の中から当行が選定
第三者評価機関	Sustainalytics（サステイナリティクス）社 ^[1]

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。2021年5月17日には、2050年までに投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量のネットゼロ、および2030年までに当社自らの温室効果ガス排出量のネットゼロの達成をコミットする「MUFGカーボンニュートラル宣言」を発表しました^[2]。その実現に向けて、今後も幅広い分野における環境・社会課題解決への貢献を目指してまいります。

[1] Sustainalytics 社

米国モーニングスターグループの傘下で、現在はオランダに本社を置き、ESG リサーチ分析および機関投資家・金融機関に対しグローバルに情報提供を行う独立系調査会社。

[2] MUFG カーボンニュートラル宣言については、以下のリンクをご参照ください。

https://www.mufg.jp/dam/pressrelease/2021/pdf/news-20210517-003_ja.pdf

ご留意事項

- ・ 上記商品概要は 2022 年 4 月 1 日時点のものであり、今後変更の可能性がございます。
- ・ 「MUFG グリーン預金フレームワーク」は当行ホームページに掲載予定です（掲載前に本商品へのお申込をされるお客さまには別途手交予定です）。
- ・ お申込をご検討のお客さまには、外貨預金およびグリーン預金に関するご留意点等のご説明をさせていただきますので、お取引店にご連絡ください。
- ・ 本グリーン預金総額が、当行が定める一定金額に達した場合、お申込の受付を一時中断させていただきます可能性があります。
- ・ グリーン預金を充当する資産は、「MUFG グリーン預金フレームワーク」に基づき、実行済の資産の中から当行が選定いたします。
- ・ 通帳等への記載は、外貨定期預金と同様の内容です。

以上